



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	新規加入者の増加	目標年度	—	指標の設定理由				
	数値	—			農業者の老後生活の安定と福祉の向上と農業の担い手を確保するため				
活動指標	指標	a	対象者の選定	b	加入促進	c	広報紙の掲載	d	
	数値	目標	—	目標	—	目標	2回	目標	

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
新規加入者の増加	人	2 人	2 人	1 人
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 対象者の選定	人	22 人	30 人	17 人
b 加入促進	人	20 人	62 人	51 人
c 広報紙の掲載	回	2 回	2 回	2 回
		100.0 %	100.0 %	100.0 %
d		—	—	—

## 4. 課題と対応

課題
農業後継者が減少する状況で、農業者年金への加入率が低い。
対応（改善点等）
より一層の農業者年金新規加入者の掘り起こしと加入推進を行う。

## 5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

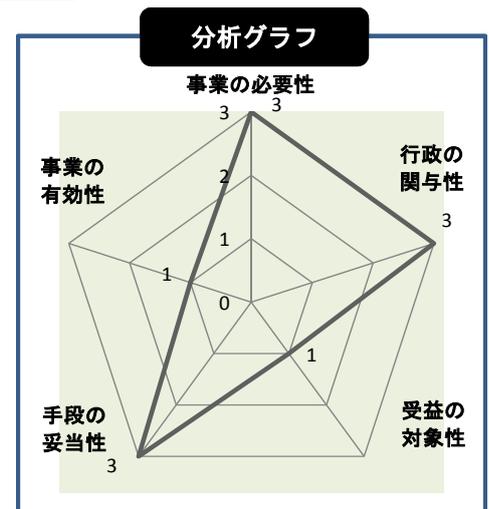
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		169	161	160	321
うち経常経費		169	161	160	321
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	165	160	160	315
	一般財源	4	1		6
うち経常		4	1		6
事業費に係る人件費		6,794	6,698	7,410	6,432
事業費に係る人役		1.58	1.56	1.70	1.45

## 6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
委託事務経費の範囲内で前年並みの事務処理を行うため。

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 独立行政法人農業者年金基金法第10条で定められた委託業務。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 独立行政法人農業者年金基金法第10条で定められた委託業務。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 農業者及び年金受給者並びに年金加入者に限られる。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	1 新規加入者が少ない。



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適切かつ効率的な事務処理に努めること。